取扱説明書

TAKIZUMI

保管用

蛍光灯直付器具

取説No. GK－01－01

お客様へ　この度はタキズミ照明器具を、お買い上げいただきましてありがとうございます。ご使用前にこの「取扱説明書」をよくご覧のうえ正しくご使用ください。

工事店様へ　この説明書は工事終了後、この器具をご使用になるお客様にお渡しください。

安全上のご注意

安全に関する重要な内容を次のように説明しております。
ご使用前によくお読みのうえ、必ずお守りください。

⚠ 警告	誤った使用をした場合、事故等により使用者が重傷を負う危険があるものをまとめてあります。

⚠ 注意	誤った使用をした場合、障害を受けたり物的損害の発生が想定されるものをまとめてあります。

⚠ 警告

水ぬれ禁止	■この器具は非防水です。浴室や屋外などの湿気、水気の多い場所での使用はできません。 ◇火災や感電　絶縁不良の原因となります。	分解禁止	■器具を改造又は部品を変更して使用しないでください。 ◇感電や火災の原因となります。
禁止	■器具をシンナーやベンジンなどの揮発性のものでふいたり殺虫剤をかけたりしないでください。また、器具を設置する場合、油煙の多い場所はさけてください。 ◇変形や割れ、落下の原因となります。 ■ランプ交換、お手入れの際は必ず電源を切ってから行ってください。また、寿命末期のランプを使い続けると異常を発生し火災の原因となりますので速やかなランプ交換をおすすめします。 ◇感電や火災の原因となります。 ■器具の取付は器具重量に耐える場所に本取扱説明書に従って確実に行ってください。 ◇取付に不備があると落下やけがの原因となります。 ■放熱穴等、器具の隙間に金属類を差し込まないください。 ◇感電・故障の原因となります。 ■配線器具の取付工事が必要な場合は、必ず工事店電気店（有資格者）に依頼してください。 ◇一般の方の工事は法律で禁止されています。	注意	■器具やランプを布や紙等で覆ったり燃えやすい物を近づけたりしないでください。 ◇火災、損傷、過熱、故障、変形の原因となります。 ■器具の下にはストーブなど高温のものを置かないでください。 ◇火災、損傷、加熱、故障、変形の原因となります。
		注意	■器具の取付、電源の接続は、器具本体表示、本取扱説明書に従って確実に行なってください。 ◇落下・損傷・過熱の原因となります。 接続が不備な場合、故障の原因となります。
		必ず守る	■煙や臭い等の異常を感じたら速やかに電源を切ってください。 ◇感電、火災の原因となります。 （電気店又はお買上げ店にご相談ください。）

安全上のご注意

安全に関する重要な内容を次のように説明しております。
ご使用前によくお読みのうえ、必ずお守りください。

⚠ 警告	誤った使用をした場合、事故等により使用者が重傷を負う危険があるものをまとめてあります。

⚠ 注意	誤った使用をした場合、障害を受けたり物的損害の発生が想定されるものをまとめてあります。

⚠ 注意

禁止

■ランプはガラスですので、ランプホルダーや引きひもを強く当てないでください。
◇ランプが破損し、けがの原因となります。

■点灯中ソケットからランプをはずさないでください。ランプの口金は動くようになっていますが無理に動かさないでください。
◇保護装置が働き再点灯しないことがあります。

■白熱用調光器（コントローラ）は使用できません。
◇器具や調光器の損傷　過熱　故障の原因となります。

接触禁止

■点灯中や消灯直後の器具やランプは高温になっておりますので手を触れないでください。
◇やけどの原因となります。

注意

■グロースタータ蛍光灯器具はお使いになる地域の周波数にあった器具を必ず使用してください。
◇間違ったまま使用しますと、火災の原因となります。

■この器具は屋内専用で５～３５℃の温度の範囲内で使用してください。
◇低温では点灯しにくくなったり、また高温では加熱により損傷の原因になります。

■器具の近くで他の家電製品のリモコンを操作した場合、誤動作することがあります。
◇器具とリモコン受信部を離してご使用ください。

■器具の近くや電波状況の弱い場所では、音響製品等に雑音が入る場合があります。
◇器具と音響製品を離してご使用ください。

■点灯中及び消灯後にきしみ音が発生する場合がありますが異常ではありません。
◇熱による構成材料の収縮音です。

使用上のご注意

●ご使用になる場所の温度が低い場合、所定の明るさになるまでしばらく時間がかかる場合があります。

●点灯直後のちらつきや移動縞（ランプにシマシマの模様が見える状態）が発生することがありますが、ランプが温まりますと自然に収まりますのでご了承願います。

●点灯中及び消灯後にきしみ音が発生する場合がありますが異常ではありません。

●器具の近くで他の家電製品のリモコンを操作した場合、誤動作することがあります。

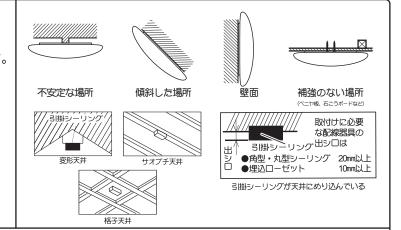
●器具の近くや電波状況の弱い場所では、音響製品等に雑音が入る場合があります。

取付け前のご注意

● 次のような場所には取付できません。

禁止

■この器具は、水平天井面取付専用器具です。不安定な場所、傾斜した場所、壁面、補強のない場所には取付できません。また、変形天井、サオブチ天井、格子天井などの凹凸のある場所には天井に密着しないため、器具本体がグラツキ取付できません。取付面の強度が弱い場合、天井補強をおこなってください。

注意

■この器具は非防水です。浴室や屋外などの湿気、水気の多い場所（蒸気の発生する場所など）での使用はできません。

■油（油煙のあがる場所など）の多い場所には取付けないでください。

■器具の下には暖房器具、ガス器具、ストーブなどの高温のものを置かないでください。

● 次のような配線器具には取付できません。

禁止

■火災、感電、落下によるけがの原因となります。配線器具が次のような場合は工事店、電気店へ配線器具の交換を依頼してください。

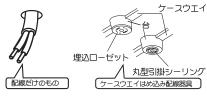
（一般の方の電気工事は法律で禁止されています。）

ぐらぐらしているとき

配線だけのもの

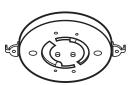
ケースウエイはめ込み配線器具

破損しているもの

露出タイプ

⃠ 素人の工事は危険です。工事店、電気店へ配線器具の交換を依頼してください。（一般の方の電気工事は法律で禁止されています。）

● 天井に下図のいずれかの配線器具が工事されていれば取付けられます。

角型引掛シーリング

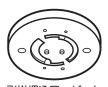
丸型引掛シーリング

引掛埋込ローゼット
（ハンガー付）

丸型フル引掛シーリング

フル引掛ローゼット

引掛埋込ローゼット
（ハンガーなし）

お手入れについて

必ず電源を切って、ランプやその周辺が冷めてから行ってください。

■安全に使用していただくために定期的（６カ月に１回程度）に清掃および点検を
行うことをおすすめします。

■不具合な点、および異常を感じた場合は、速やかに電源を切ってください。

■器具をシンナーやベンジンなどの揮発性のものでふいたりしないでください。

■器具の汚れは柔らかい布に中性洗剤を浸しよく絞ってから、ふいてください。
天然素材（木・和紙）の場合はハタキ、ハケ、柔らかいブラシ等でこまめに
ホコリを払い落としてください。（水洗いは絶対にしないでください。）

器具の寿命と点検に関するご注意

●一般に照明器具の寿命は８～１０年とされています。※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯。（JIS　C8105-1解説による。）

●設置して8～１０年経つと、外観に異常が無くても内部の劣化が進行しておりますので点検・交換をお勧めします。

●周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合は、寿命が短くなります。

●点検せずに長期間使用されますとごくまれに、発煙、発火、感電などに至る恐れがあります。

タキズミ照明器具保証書

※保証書の記載内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。

●本書は、取扱説明書に記載されてある通りの正常な使用状態で、保証期間中に
故障が発生した場合に、無償で修理させて頂く事をお約束するものです。
万一、保証期間中に故障が発生した場合、本書と商品をご持参の上、お買上げ販売
店もしくは当社に修理をご依頼ください。

●お客様欄および販売店名の記載のないものは無効となりますのでご注意ください。
また、本書は大切に保管しておいてください。

●本書は日本国内においてのみ有効です。　This warranty is valid only in Japan.

●ご転居の場合は、事前にお買上げの販売店にご相談ください。

●ご贈答などで本書に記載してあるお買上げの販売店に修理が依頼できない場合には
お近くの当社営業所までご相談ください。

●保証期間は、製品お買い上げ日より１年間です。但し、蛍光灯器具の安定器は３年間です。
安定器は電子式安定器（通称：インバータバラスト）を対象とします。
ランプ、電池、カバー、リモコンなどの消耗品は対象外とさせていただきます。

※保証の例外　２４時間連続使用など、１日２０時間以上の長時間の使用の場合、
保証期間は半分となります。

●保証期間内であっても次のような場合は有償修理となります
1.使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。
2.お買上げ後落下、輸送等による故障および損傷。
3.火災、天災地変（地震、台風、水害、落雷等）、塩害、ガス害、異常電圧による故障および破損。
4.一般家庭以外（業務用、船舶への取付等）にご使用の場合の故障および破損。
5.ご使用による部品の汚れ。
6.消耗部品の交換（ランプ、電池、カバー、リモコン等）
7.施工上の不備に起因する故障や不具合。
8.保証書および領収書あるいは販売店様発行の保証書のご提示がない場合。

●補修用性能部品の最低保有期限
弊社は照明器具の補修用性能部品（電気部品）を製造打ち切り後最低６年間
保有しています。（※カバーなどの電気部品以外の部品は含まない）
補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。

●お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動及び、
その後の安全点検活動のために記載内容を利用させて頂く場合がございますので、
ご了承ください。

<table>
<tr><td colspan="2">品　番</td><td></td><td rowspan="7">備考</td></tr>
<tr><td colspan="2">保証期間</td><td>本体：1年間　安定器：3年間</td></tr>
<tr><td colspan="2">お買上げ年月日</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="3">お客様</td><td>お名前</td><td></td></tr>
<tr><td>ご住所</td><td></td></tr>
<tr><td>お電話</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">販売店名</td><td></td></tr>
</table>

■　商品とお取扱方法については・・・

瀧住電機工業株式会社　本社･大阪／〒546-0035　大阪市東住吉区山坂2丁目21番16号
TEL.06-6628-1601（代表）　FAX.06-6628-1609

「お客様相談室」 フリーダイヤル 0120-226-544
受付時間/月～金（土、日、祝日、年末年始を除く）　9：00～12：00（午前）13：00～17：00（午後）

取扱説明書

TAKIZUMI

保管用

蛍光灯直付器具

取説No. GY－86－15

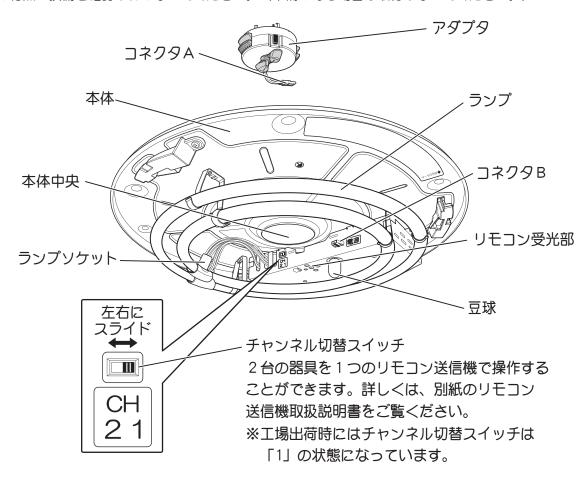
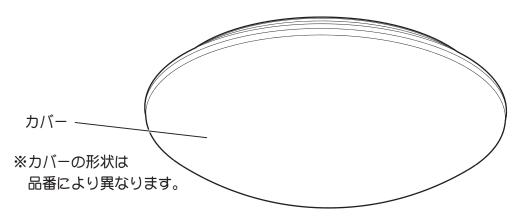
お客様へ	この度はタキズミ照明器具を、お買い上げいただきましてありがとうございます。ご使用前にこの「取扱説明書」をよくご覧のうえ正しくご使用ください。
工事店様へ	この説明書は工事終了後、この器具をご使用になるお客様にお渡しください。

品番ＴＮＧ－８８９３Ｂ

各部のなまえ

⚠ 部品の有無・損傷を確認しおこなってください。（不備のある場合は取付けないでください。）

器具の取付けかた

必ず電源を切ってください。（一部姿図を省略しております。）

角型・丸型・丸型フル引掛シーリング・フル引掛ローゼットの場合

1 天井の配線器具を確認する。

角型引掛シーリング

丸型引掛シーリング

丸型フル引掛シーリング

フル引掛ローゼット

2 引掛シーリングにアダプタを取付ける。

引掛シーリング

※右にカチと
鳴るまでまわして
取付けてください。

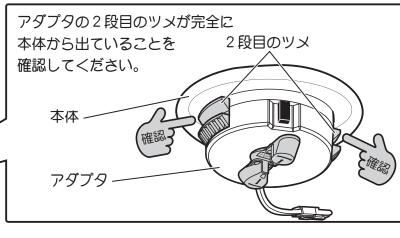
ボタン

アダプタ

図は角型引掛
シーリングですが
丸型引掛シーリング
丸型フル引掛シーリング
フル引掛ローゼット
にも同様に取付けて
ください。

⚠ 取付け後、ボタンを押さずに左へ回してはずれないことを確認してください。

3 アダプタに本体を取付ける。

本体の中央を押し上げ
アダプタの２段目のツメに
引っかかってカチ カチと
鳴るまで強く押し上げて
ください。

2回押し上げる。

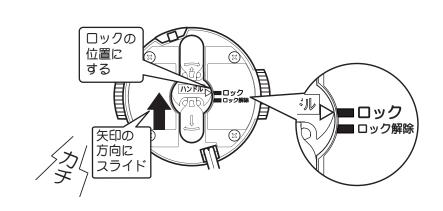
⚠ **器具落下を防ぐため必ず確認してください。**

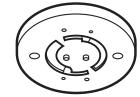
本体のグラつきがなくなったことを
確認してください。

4 アダプタをロックする。

ハンドルの▲印をロックの位置に
なるまでハンドルを矢印の方向に
スライドしてください。

器具の取付けかた

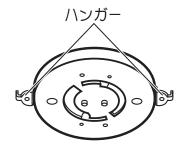
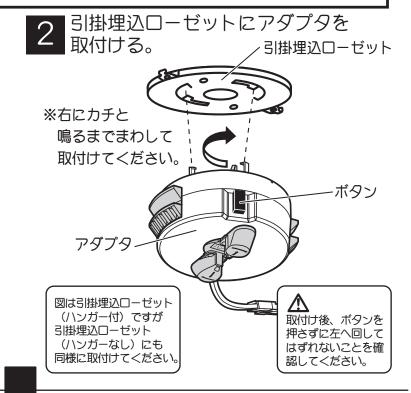
必ず電源を切ってください。（一部姿図を省略しております。）

引掛埋込ローゼットの場合（ハンガー付、ハンガーなし）

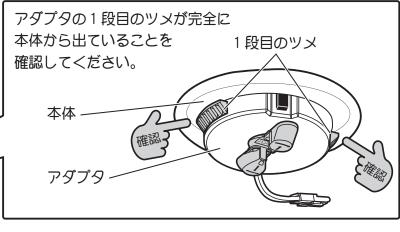
1 天井の配線器具を確認する。

引掛埋込ローゼット（ハンガーなし）

引掛埋込ローゼット（ハンガー付）

2 引掛埋込ローゼットにアダプタを取付ける。

図は引掛埋込ローゼット（ハンガー付）ですが引掛埋込ローゼット（ハンガーなし）にも同様に取付けてください。

取付け後、ボタンを押さずに左へ回してはずれないことを確認してください。

3 アダプタに本体を取付ける。

本体の中央を押し上げ
アダプタの１段目のツメに
引っかかってカチと
鳴るまで強く押し上げて
ください。

1 回 押し上げる。

器具落下を防ぐため
必ず確認してください。

アダプタの１段目のツメが完全に
本体から出ていることを
確認してください。

本体のグラつきがなくなったことを
確認してください。

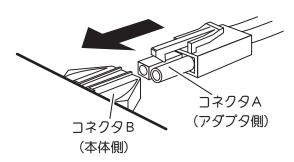
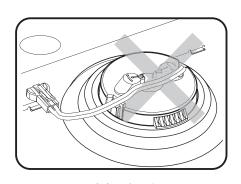
4 アダプタをロックする。

ハンドルの▲印をロックの位置に
なるまでハンドルを矢印の方向に
スライドしてください。

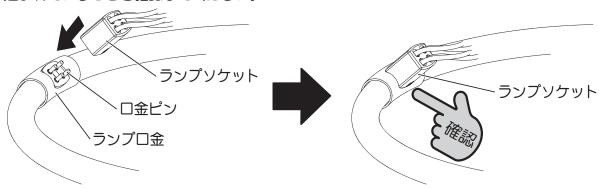
器具の取付けかた

必ず電源を切ってください。（一部姿図を省略しております。）

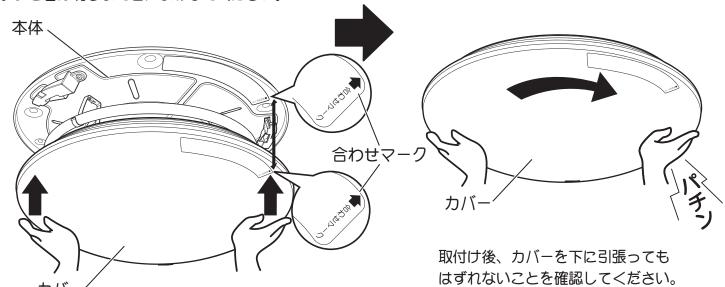
5 コネクタを接続する。

コネクタＡの丸穴と角穴をそれぞれ
コネクタＢの丸穴と角穴に差し込んでください。

取付け後、引張って抜けないことを確認してください。

器具の破損を防ぐため
アダプタのハンドルに
コードを引掛けないで
ください。

6 ランプの取付けを確認する。

ランプ口金の口金ピンにランプソケットが
確実に差し込まれていることを確認してください。

7 カバーを取付ける。

カバーと本体側の合わせマークを
合わせて上に押し上げ、
パチンと音が鳴るまで右にまわしてください。

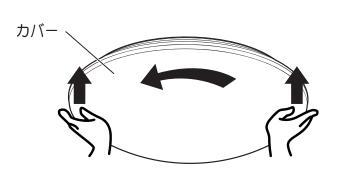
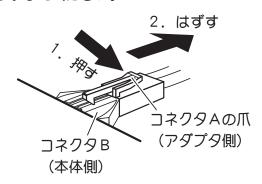
取付け後、カバーを下に引張っても
はずれないことを確認してください。

器具の取りはずしかた

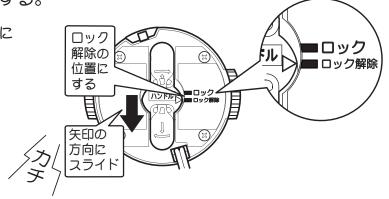
⃠ 必ず電源を切ってください。（一部姿図を省略しております。）

1 カバーを取りはずす。

カバーを軽く押し上げながら、
カバーを左へ回してください。

2 コネクタを取りはずす。

コネクタＡ（アダプタ側）の爪を
押さえながら、取りはずしてください。

3 アダプタのロックを解除する。

ハンドルの▲印をロック解除の位置に
なるまでハンドルを矢印の方向に
スライドしてください。

4 本体を取りはずす。

本体を押さえながら、ハンドルを
右に回してください。

①本体を
押さえる

②ハンドルを
右に回す

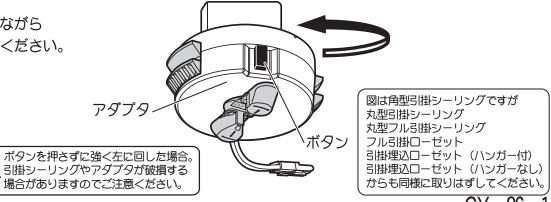
⚠ 器具落下を防ぐため、しっかり本体を
押さえながらアダプタのハンドルを
右へ回してください。

5 アダプタを取りはずす。

アダプタのボタンを押しながら
左へ回して取りはずしてください。

⚠ ボタンを押さずに強く左に回した場合、
引掛シーリングやアダプタが破損する
場合がありますのでご注意ください。

図は角型引掛シーリングですが
丸型引掛シーリング
丸型フル引掛シーリング
フル引掛ローゼット
引掛埋込ローゼット（ハンガー付）
引掛埋込ローゼット（ハンガーなし）
からも同様に取りはずしてください。

仕様

■定格

	使用電圧	消費電力	周波数	適合ランプ	豆球
８６W（61W）インバータ 明るさフリーコントロール	100V	71W	50/60HZ共用	FHC-27W	5W
				FHC-34W	

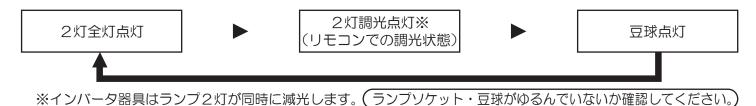
■点灯順序 壁スイッチを操作して点灯順序をお確かめください。

※インバータ器具はランプ２灯が同時に減光します。（ランプソケット・豆球がゆるんでいないか確認してください。）

●ご使用になる場所の温度が低い場合、所定の明るさになるまでしばらく時間がかかる場合があります。

●点灯直後のちらつきや移動縞（ランプにシマシマの模様が見える状態）が発生することがありますが
ランプが温まりますと自然に収まりますのでご了承願います。

●壁スイッチで電源を切った場合及び停電の場合は、リモコン送信機で操作しても作動しません。

●壁スイッチをＯＮしても点灯しない場合は、約3秒以内 に壁スイッチを
素早くＯＦＦ→ＯＮするか、リモコンで点灯状態を切り替えてください。

ランプ交換について

必ず電源を切って、ランプやその周辺が冷めてからランプの交換を
行ってください。（一部姿図を省略しております。）

取りはずす場合

①電源を切る。（ランプやその周辺が冷めるまで待つ）

⬇

②ソケットをランプから抜く。

⬇

③ランプホルダーからランプ大、ランプ小の
順番に取りはずす。

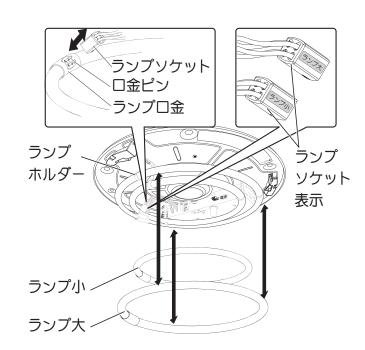
取付ける場合

①ランプソケットの表示『ランプ小』に
ランプ小の口金を合わせてランプホルダーに取付ける。

⬇

②ランプソケットの表示『ランプ大』に
ランプ大の口金を合わせてランプホルダーに取付ける。

⬇

③ランプ小、ランプ大の口金ピンにソケットを
確実に差し込む。

■ 商品とお取扱方法については・・・

瀧住電機工業株式会社

本社・大阪／〒546-0035 大阪市東住吉区山坂2丁目21番16号
TEL.06-6628-1601（代表） FAX.06-6628-1609

「お客様相談室」 フリーダイヤル 0120-226-544

受付時間/月～金（土、日、祝日、年末年始を除く） 9：00～12：00（午前）13：00～17：00（午後）

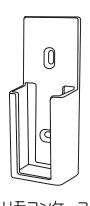
リモコン送信機取扱説明書

取説　No.B-34-26

付属部品

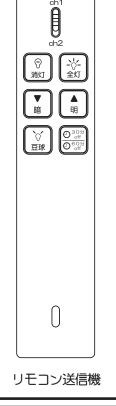
リモコン製品には下図の　リモコンユニットが付属しておりますのでご確認ください。

⚠ 部品の有無・損傷を確認してください。

木ネジ　2個

リモコンケース

単三乾電池　2本

リモコン送信機

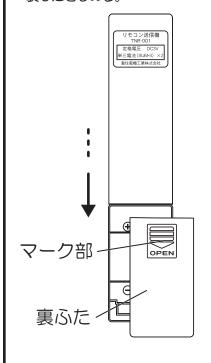
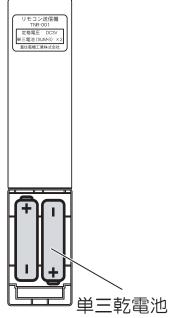
②リモコン送信機を操作する。

・リモコン送信部を器具本体に向けて、お好みのボタンを押してください。お好みの点灯状態に切り替えることができます。

・１つのリモコン送信機で、２台の照明器具の操作をおこなうことができます。
（ただし、当社の同種のリモコン送信機を使用する場合に限ります。）
詳しくは、本書裏面の’チャンネルスイッチの機能説明’をご覧ください。

リモコン送信機の使い方

①乾電池をリモコン送信機へ入れる。

・裏ふたのマーク印を押しながら下へはずす。
・単三乾電池２本を＋、－をよく確かめて入れる。
・裏ふたをしめる。

単三乾電池

⚠ 電池交換の際は必ず２本共交換してください。

消灯ボタン
消灯状態にします。

チャンネルスイッチ
２台の照明器具を操作する場合に使用します。
⚠ 工場出荷時には「ch１」の設定になっています。

明、暗調光ボタン
明るさを無段階に、調光できます。

全灯ボタン
１００％の明るさで点灯します。

明：ボタンを押すと’ピッ’とブザー音が鳴り明るくなります。

暗：ボタンを押すと’ピッ’とブザー音が鳴り暗くなります。

※明、暗ボタンを押し続けて、ブザー音が鳴らなくなった状態が最大、最小の点灯状態となります。

３０分／６０分ＯＦＦタイマーボタン
ボタンを押すと’ピッピッ’とブザー音が２回鳴り、３０分後に消灯します。
もう一度ボタンを押すと’ピッピッピッ’とブザー音が３回鳴り、６０分後に消灯します。
（どの点灯状態でもタイマーの設定ができます。）
ブザー音を確認して、タイマーの設定をおこなって下さい。

ブザー音 ’ピッピッ’	30分 off
ブザー音 ’ピッピッピッ’	60分 off

●タイマーを設定してからある時間経過した後、再度タイマーボタンを押した場合は、その時より３０分、又は６０分後の消灯となります。

●タイマー設定後、全灯、明、暗、豆球、のどれか一つでもボタンを押すと’ピー’とブザー音が鳴ってタイマーは解除されます。
必要な場合は、改めてタイマー設定をおこなってください。

豆球ボタン
豆球を点灯します。

ch1　ch2　消灯　全灯　暗　明　豆球　30分 off　60分 off　TAKIZUMI

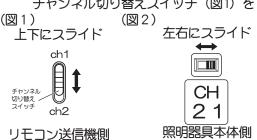
リモコン送信機取扱説明書

取説　No.B-34-26

チャンネルスイッチの機能説明

● チャンネル切り替えスイッチの設定

○　１台の照明器具だけを操作する場合送信機のチャンネルスイッチを「１」にして操作する。
（照明器具本体の受光部にあるチャンネルスイッチはあらかじめ「１」に設定しています。）

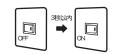
○　２台の照明器具を操作する場合照明器具本体側のチャンネル切り替えスイッチ（図2）と、リモコン送信機側のチャンネル切り替えスイッチ（図1）を下表のように設定すれば個別操作や同時操作ができます。

	個別操作		同時操作	
	１台目	２台目	１台目	２台目
器具本体側	CH ２１	CH ２１	CH ２１	CH ２１
リモコン側	ch1 / ch2	ch1 / ch2	ch1 / ch2	

⚠ 同時操作の場合、２台の器具の位置関係によってはうまく操作できない場合があります。よく動作を確認してから使用してください。

壁スイッチ操作による点灯状態切り替え方法

プルスイッチレス　機能　…この器具は、壁スイッチの操作によって点灯状態を切り替えることができます。

○壁スイッチをＯＦＦにして、約3秒以内 に壁スイッチをＯＮにすると右図の ➡ の順序で器具の点灯状態が切り替わります。

※調光点灯時の明るさは「明」「暗」ボタンによって最大値、最小値の範囲で設定することが可能です。

（ご注意）

◆１個の壁スイッチで2台以上の　プルスイッチレス　機能搭載の器具を操作する事はお避けください。点灯状態が、同時に切り替わらない場合があります。

◆壁スイッチをＯＮしても点灯しない場合は、約3秒以内 に壁スイッチを素早くＯＦＦ→ＯＮするか、リモコンで点灯状態を切り替えてください。

◆この器具は、リモコン又はプルスイッチで消灯している場合約１Ｗ以下の電力を消費しています。外出などで長期間お使いにならない場合は、壁スイッチをＯＦＦにすることをお勧めします。

◆壁スイッチで電源を切った場合及び停電の場合は、リモコン送信機で操作しても作動しません。

ご注意とお手入れ

リモコン送信機と器具の間に遮へい物があると、リモコンが動作しない場合がありますのでその際は遮へい物を避けて操作してください。
注意 ⚠

長期にわたり、リモコン送信機を使用しない場合は、乾電池の液漏れが原因で故障する恐れがありますので必ず乾電池を取り出しておいてください。
注意⚠

乾電池は半年を目安に取り替えてください。指定以外のものや新・旧の電池をまぜて使わないでください。極性表示の通り＋、－を正しく入れてください。
注意⚠

送信部は汚れますと動作しにくくなることがありますので汚れた時は乾いた柔らかい布で拭いてください。注意⚠

リモコン送信機の電池電圧が低下したり、室温が低い場合は動作しにくいことがあります。注意⚠

送信機は落としたり、水をかけたり温度の高い所やストーブなどの近くに置かないで下さい。故障の原因となります。禁止⃠

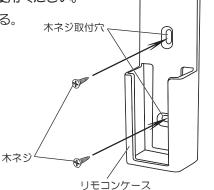
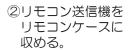
リモコンケースの取り扱いについて

●リモコン送信機をなくさないように、リモコン送信機の置き場所として壁面などにリモコンケースを取り付けてご使用ください。

①リモコンケースを壁面などに取り付ける。

付属のリモコンケースを取り付け位置である壁面などに右図のように押しあてて、木ネジをねじ込み、しっかり固定する。

リモコンケースの取り付け場所は、お部屋の出入り口付近が便利です。

②リモコン送信機をリモコンケースに収める。

リモコン送信機の送信部を上にして、リモコンケースに差し込んで収めてください。